

## 注 記 事 項

(中間連結貸借対照表関係)

1. 固定資産の工事費負担金等の受入れによる圧縮記帳額 (累計)	1 0 2, 8 2 4	百万円
2. 有形固定資産の減価償却累計額	2, 0 7 2, 4 2 7	百万円
3. 担保資産及び担保付債務		
(1) 親会社の総財産を社債の一般担保に供しております。		
社債 (1年以内に償還すべき金額を含みます。)	4 1 9, 4 2 1	百万円
金融商品に係る会計基準における経過措置を適用した 債務履行引受契約により債務の履行を委託した社債	3 3 5, 3 3 0	百万円
(2) 親会社が関連会社の借入金等の担保に供している資産		
長期投資	1 4 2	百万円
(3) 一部の連結子会社において、有形固定資産を金融機関からの借入金の担保に供して おります。		
電気事業固定資産	8, 5 4 7	百万円
その他の固定資産	2, 5 3 2	百万円
上記物件に係る債務		
長期借入金 (1年以内に返済すべき金額を含みます。)	6, 6 9 5	百万円
短期借入金	9 0 0	百万円
4. 偶発債務		
(1) 保証債務		
イ. 以下の金融機関からの借入金に対する保証債務		
土佐発電(株)	4, 0 4 6	百万円
(株)グリーンパワー郡山布引	3, 3 0 0	百万円
エクアドル資源ファイナンス(株)	6 1 7	百万円
ROI-ET Green Co., Ltd.	2 7 7	百万円
奥只見観光(株)	2 3 3	百万円
苅田エコプラント(株)	1 5 6	百万円
川越ケーブルビジョン(株)	7 5	百万円
(株)J Pエンタープライズ	5	百万円
ロ. 従業員の持ち家財形融資等による金融機関からの借入金に対する保証債務	5, 5 2 3	百万円
ハ. P F I 事業に係る履行保証保険契約に対する保証債務		
江戸川ウォーターサービス(株)	4 4	百万円
計	1 4, 2 7 9	百万円

(2) 社債の債務履行引受契約に係る偶発債務

次の社債については、下記金融機関との間に金融商品に係る会計基準における経過措置を適用した債務履行引受契約を締結し、債務の履行を委任しました。

しかし、社債権者に対する当社の社債償還義務は社債償還完了時まで存続します。

政府保証第 28 回電源開発債券 (引受先 株東京三菱銀行)	50,250	百万円
ち号第 27 回電源開発債券 (適格機関投資家限定) (引受先 株みずほコーポレート銀行)	15,000	百万円
ち号第 28 回電源開発債券 (適格機関投資家限定) (引受先 株三井住友銀行)	14,430	百万円
ち号第 29 回電源開発債券 (適格機関投資家限定) (引受先 農林中央金庫)	14,530	百万円
政府保証第 30 回電源開発債券 (引受先 株東京三菱銀行)	50,000	百万円
ち号第 30 回電源開発債券 (適格機関投資家限定) (引受先 株ユーエフジェイ銀行)	8,000	百万円
ち号第 33 回電源開発債券 (適格機関投資家限定) (引受先 株ユーエフジェイ銀行)	6,200	百万円
ち号第 34 回電源開発債券 (適格機関投資家限定) (引受先 株東京三菱銀行)	16,500	百万円
政府保証第 27 回電源開発債券 (引受先 株三井住友銀行)	40,000	百万円
政府保証第 32 回電源開発債券 (引受先 株みずほコーポレート銀行)	40,000	百万円
政府保証第 33 回電源開発債券 (引受先 株東京三菱銀行)	30,000	百万円
政府保証第 31 回電源開発債券 (引受先 株みずほコーポレート銀行)	50,420	百万円
計	335,330	百万円

5. 資本剰余金

資本剰余金について、中間連結貸借対照表と中間貸借対照表との間に差額がありますが、その原因は以下のとおりであります。

中間貸借対照表上の資本剰余金	81,852	百万円
連結子会社合併に伴う合併差益の消去 (電発ホールディング・カンパニー株)	△ 2	百万円
中間連結貸借対照表上の資本剰余金	81,849	百万円

(中間連結損益計算書関係)

1. 営業費用の内訳

「電気事業営業費用」の内訳は、下記のとおりです。

(単位：百万円)

区 分	電 気 事 業 営 業 費 用	電気事業営業費用のうち、 販売費・一般管理費
人 件 費	14,944	10,120
燃 料 費	73,761	—
修 繕 費	22,787	507
委 託 費	14,069	4,251
租 税 公 課	14,976	277
減 価 償 却 費	65,550	1,285
そ の 他	24,441	5,577
合 計	230,531	22,020

(中間連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

現金及び預金勘定	37,805	百万円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△ 130	百万円
現金及び現金同等物中間期末残高	37,674	百万円